

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

I 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

3 調査実施日

令和5年4月18日（火）

4 調査の内容

(1) 教科に関する調査(小学校:国語・算数、中学校:国語・数学・英語)

- ・ 中学校英語は3年に1度実施（前回の実施は平成31年度で、令和2年度は調査全体が中止）

(2) 質問紙調査(生活習慣や学習環境等)

- ・ 児童生徒に対する調査
- ・ 学校に対する調査

5 調査を実施した本県公立学校数・児童生徒数

(1) 学校数(義務教育学校、特別支援学校を含む)

- ・ 小学校：202校
- ・ 中学校：85校

(2) 児童生徒数(義務教育学校、特別支援学校を含む)

- ・ 小学校：8,937人
- ・ 中学校：8,727人

Ⅱ 調査の結果

1 教科に関する調査の結果

学 年	項 目	県・国	国 語	算 数 ・ 数 学	英 語
小学校 第6学年	問題数		14	16	/
	平均正答率 (%)	本県	72	67	
		全国	67.2	62.5	
中学校 第3学年	問題数		15	15	17
	平均正答率 (%)	本県	73	56	49
		全国	69.8	51.0	45.6

※文部科学省は、平成29年度から県の平均正答率を整数値で公表している。

※文部科学省は、中学校英語について、4技能のうち「話すこと」を除く、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計を集計し公表している。

2 質問紙調査の結果《抜粋》

< 児童生徒質問紙 >

- (1)国語の授業の内容はよく分かりますか
- (2)算数・数学の授業の内容はよく分かりますか
- (3)英語の勉強は好きですか
- (4)将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか
- (5)授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
- (6)家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含みます)
- (7)自分には、よいところがあると思いますか
- (8)先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- (9)前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

< 学校質問紙 >

- (10)前年度までに、児童生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか
- (11)前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか
- (12)前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を行いましたか
- (13)令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

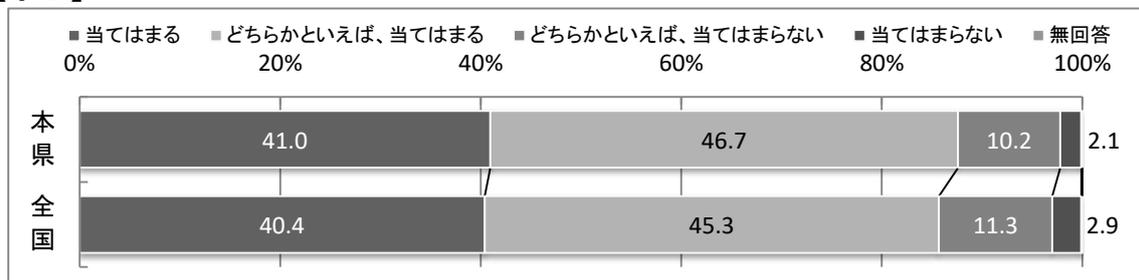
< 児童生徒質問紙 >

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等】

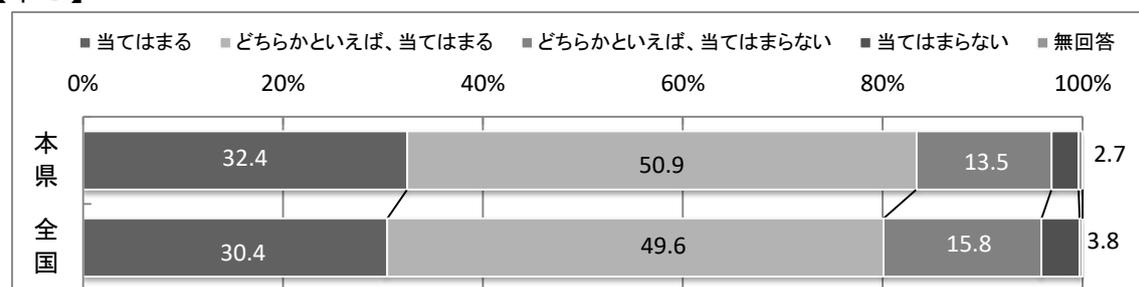
(1) 国語の授業の内容はよく分かりますか

肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小6は87.7%、中3は83.3%で、ともに全国よりやや高い。

【小6】



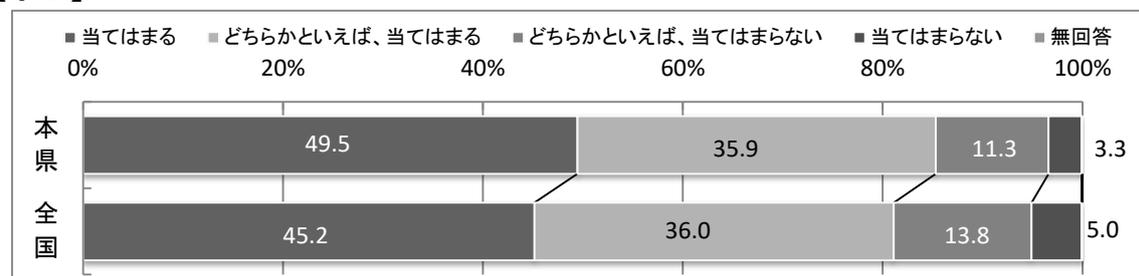
【中3】



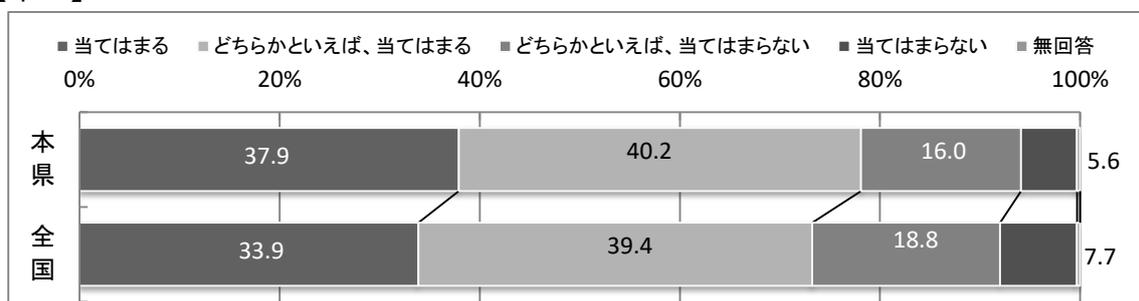
(2) 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか

肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小6は85.4%、中3は78.1%で、ともに全国よりやや高い。

【小6】



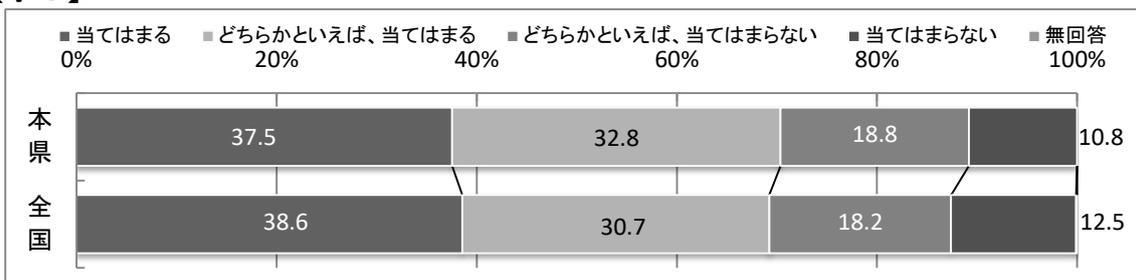
【中3】



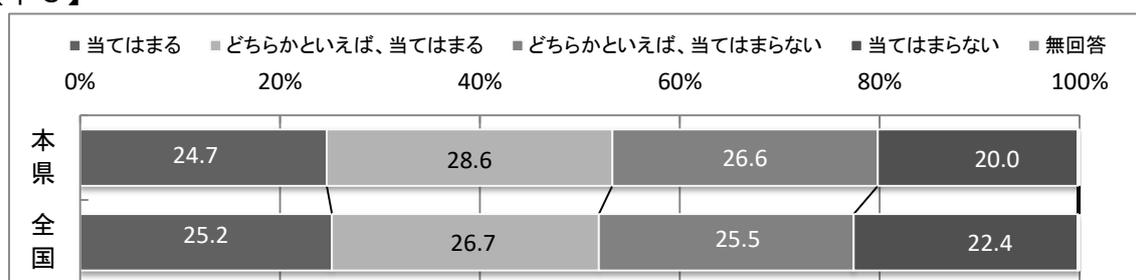
(3) 英語の勉強は好きですか

肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小6は70.3%、中3は53.3%で、ともに全国と同程度。

【小6】



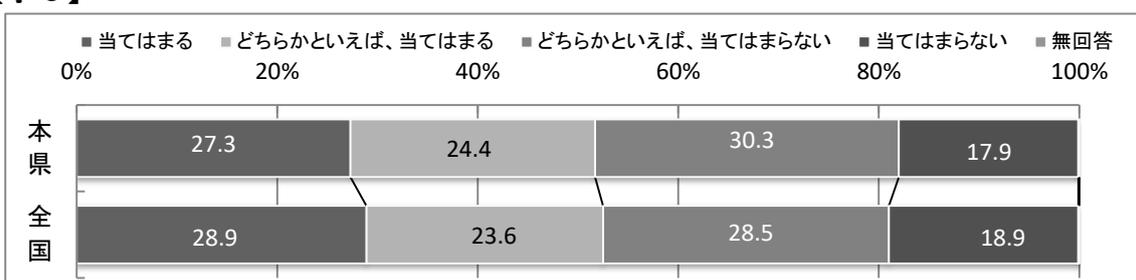
【中3】



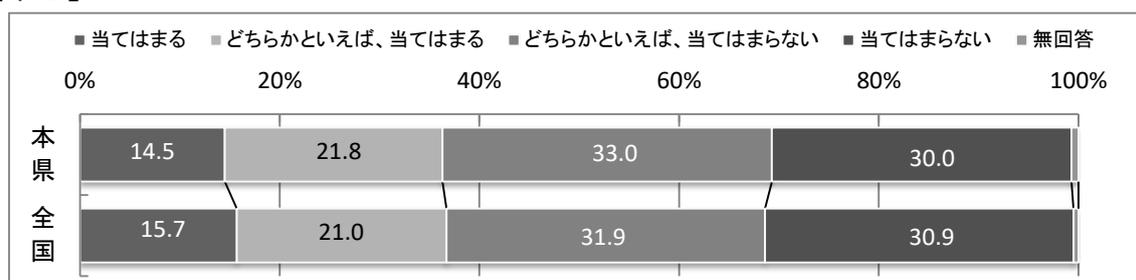
(4) 将来、積極的に英語を使うような生活をしたたり職業に就いたりしたいと思いますか

肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小6は51.7%、中3は36.3%で、ともに全国と同程度。

【小6】



【中3】

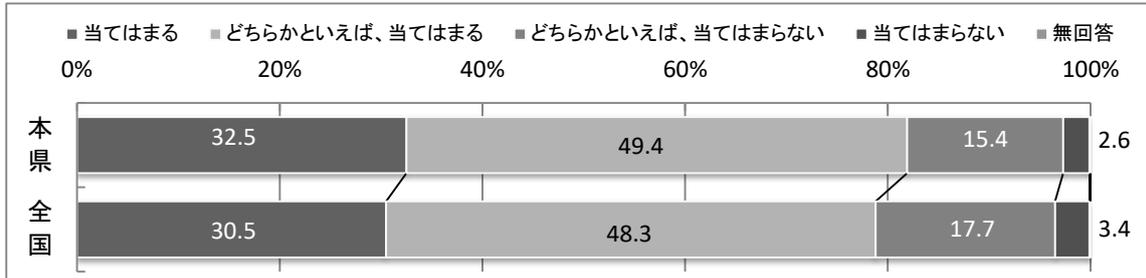


【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

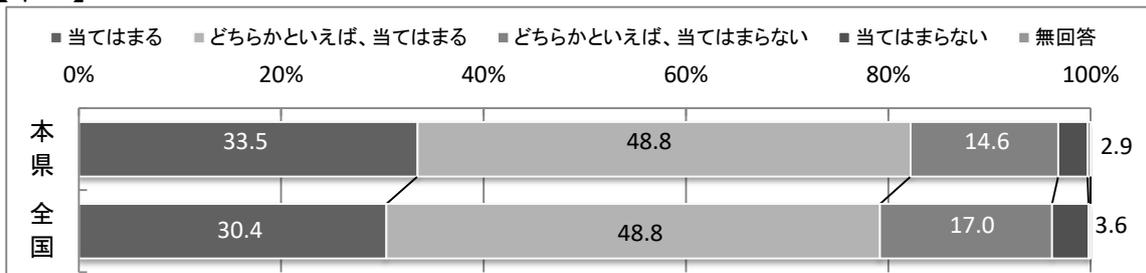
(5) 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小6は81.9%、中3は82.3%で、ともに全国よりやや高い。

【小6】



【中3】

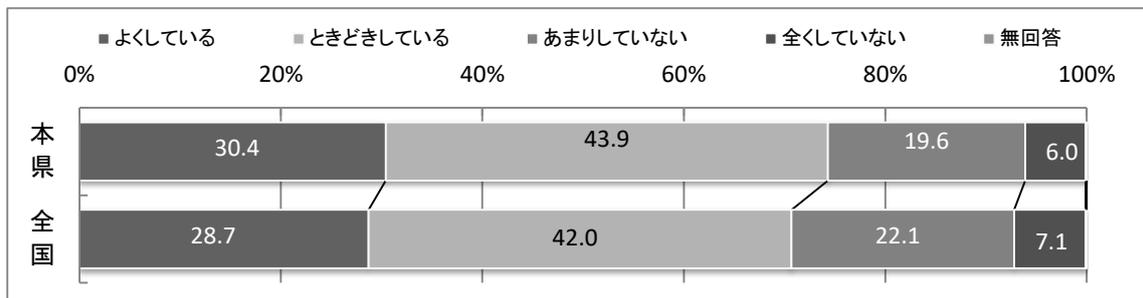


【学習習慣等】

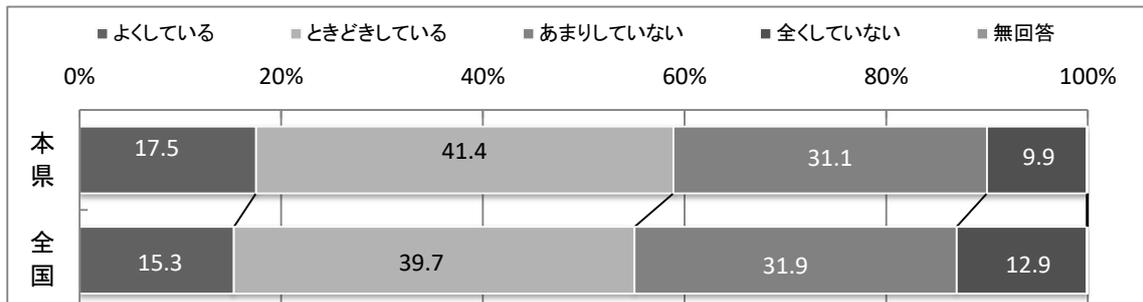
(6) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含みます）

肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小6は74.3%、中3は58.9%で、ともに全国よりやや高い。

【小6】



【中3】

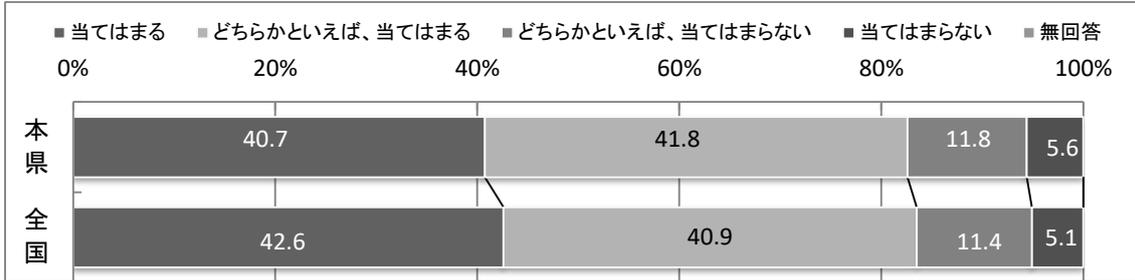


【自己有用感等】

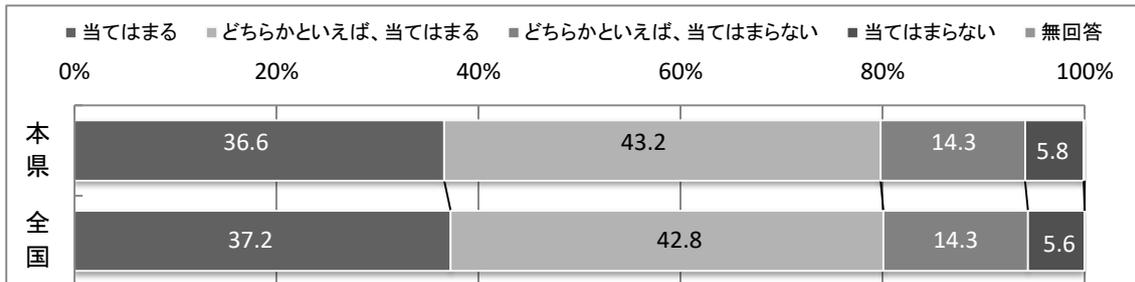
(7) 自分には、よいところがあると思いますか

肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小6は82.5%、中3は79.8%で、ともに全国と同程度。

【小6】



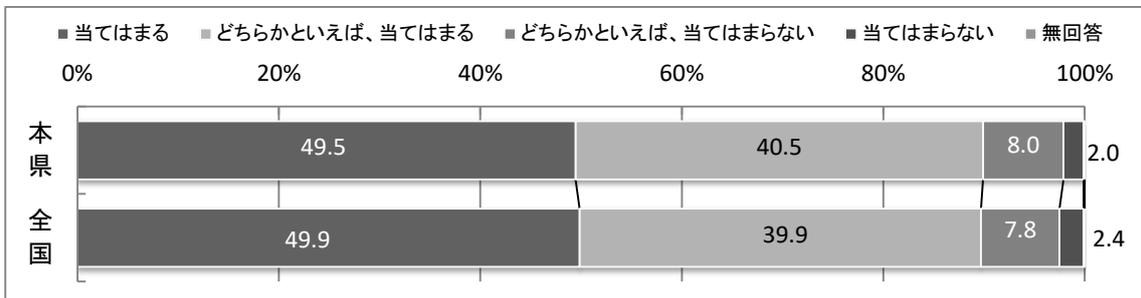
【中3】



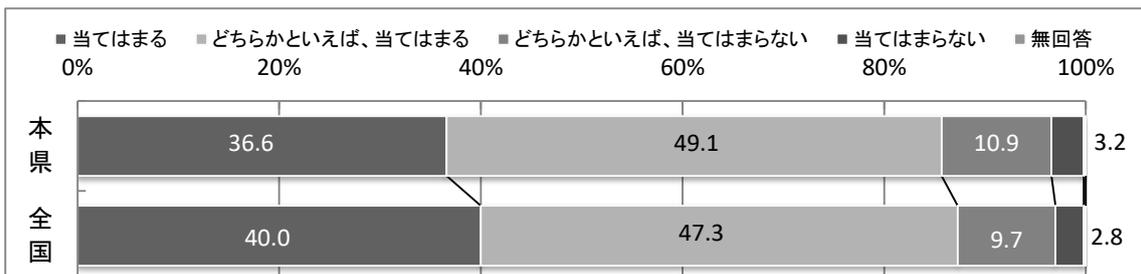
(8) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小6は90.0%、中3は85.7%で、ともに全国と同程度。

【小6】



【中3】

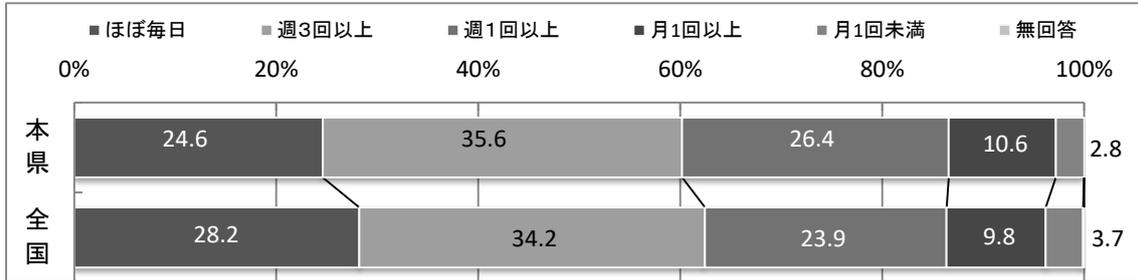


【ICTを活用した学習状況】

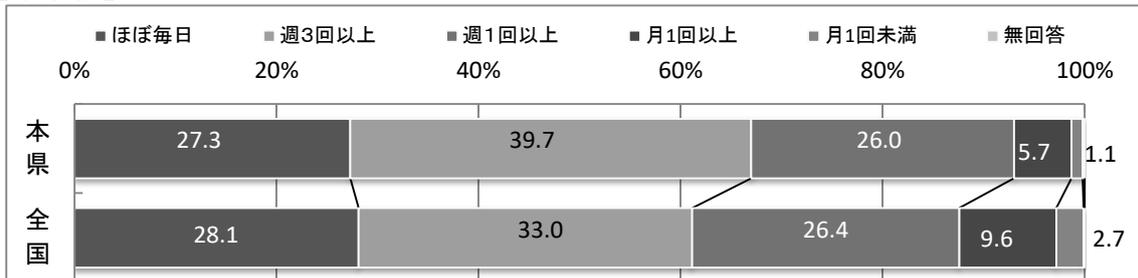
(9) 前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
 ※「週1回以上」と回答した割合

「週1回以上」と回答した児童生徒の割合は、小6は86.6%で全国と同程度であり、中3は93.0%で全国より高い。

【小学校】



【中学校】



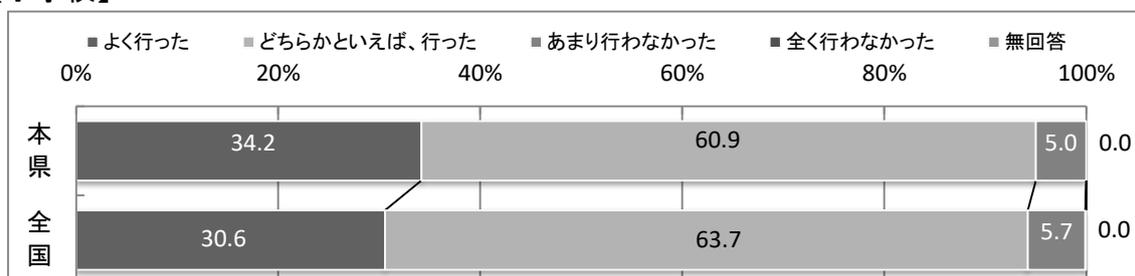
< 学校質問紙 >

【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

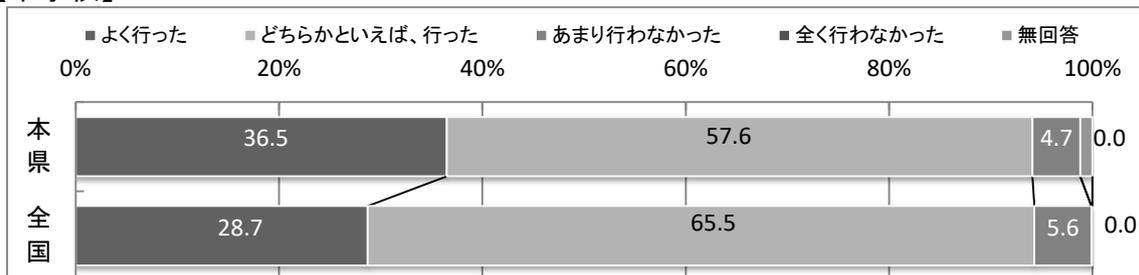
(10) 前年度までに、児童生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

肯定的な回答をした学校の割合は、小学校は95.1%、中学校は94.1%で、ともに全国と同程度。

【小学校】



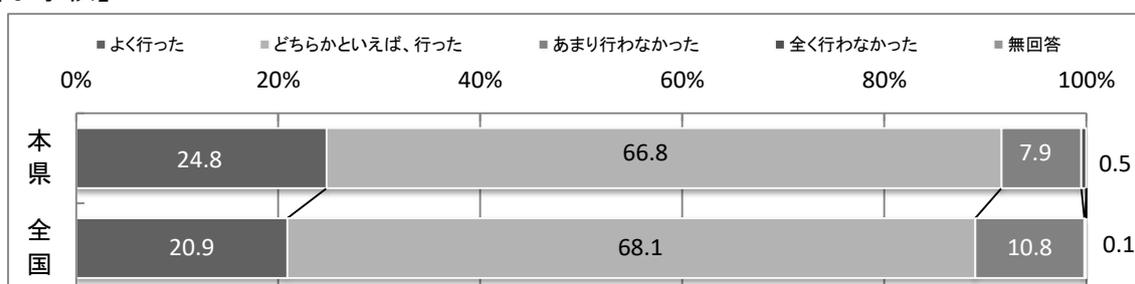
【中学校】



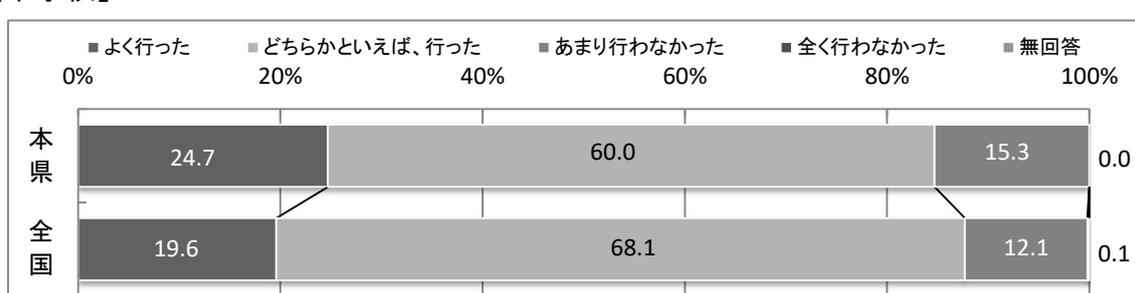
(11) 前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

肯定的な回答をした学校の割合は、小学校は91.6%で全国よりやや高く、中学校は84.7%で全国よりやや低い。

【小学校】



【中学校】

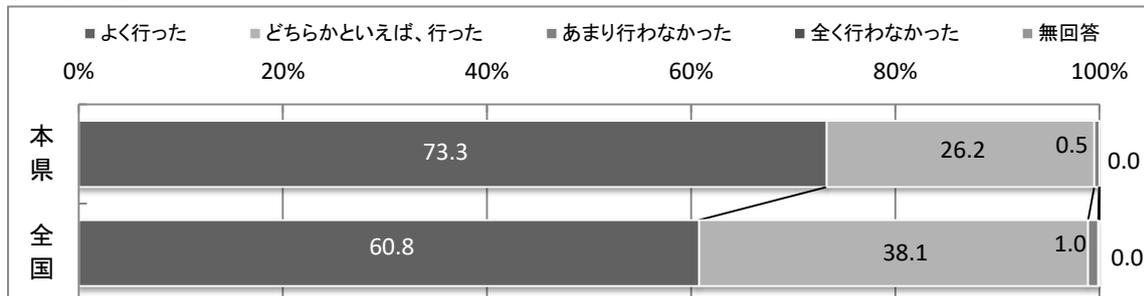


【生徒指導等】

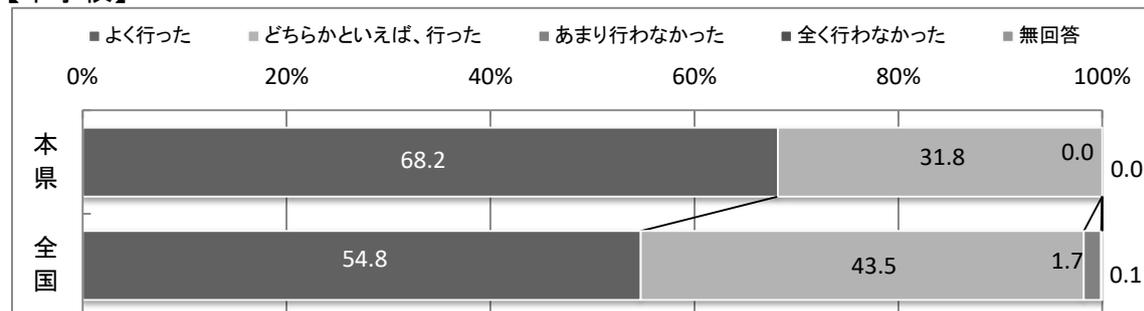
(12) 前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか

肯定的な回答をした学校の割合は、小学校は99.5%、中学校は100.0%で、ともに全国と同程度。

【小学校】



【中学校】

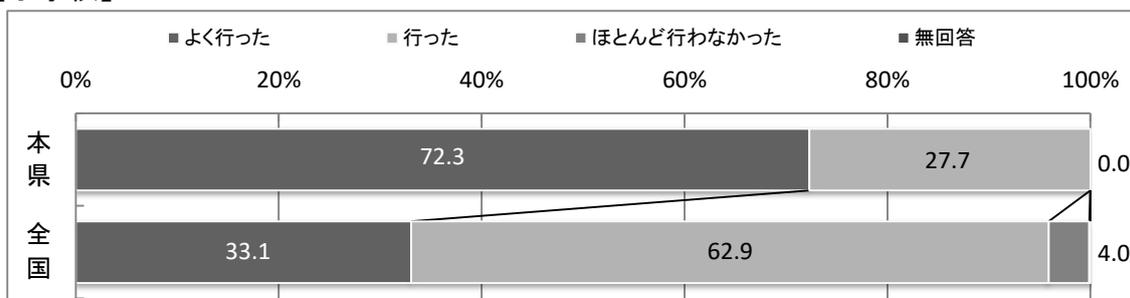


【調査結果の活用】

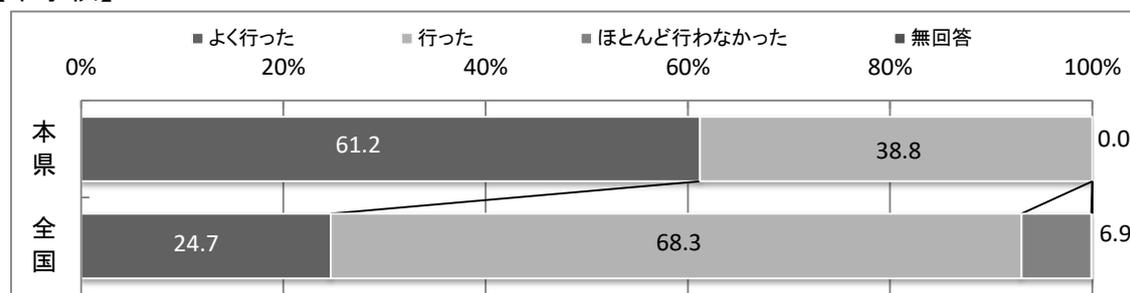
(13) 令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

肯定的な回答をした学校の割合は、小学校は100.0%で全国よりやや高く、中学校は100.0%で全国より高い。特に「よく行った」との積極的な回答の割合は、全国より小学校で39.2%、中学校で36.5%高い。

【小学校】



【中学校】



小学校 国語：書くこと

◆ 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。

具体的な設問例 (大問1二)

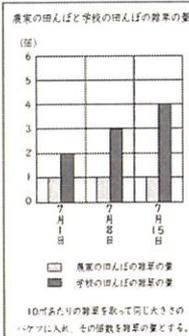
【川村さんの文章】の□□に、下の条件に合わせて、学校の米作りの問題点とその解決方法について書く。

正答率：26.8%

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼにむぎを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、アいがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとくらべてみました。ウさんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。



【川村さんの文章】の一部

〈条件〉

- ・問題点については【川村さんの文章】のグラフと【カード④】のそれぞれから分かることを書く。
- ・問題の解決方法は【カード⑤】をもとに書く。
- ・60字以上100字以内で書く。 ※【カード④】【カード⑤】は紙面の都合上省略

〈正答例〉

グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしょうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。(100字)

〈誤答例〉

グラフから分かるように、農家も雑草が生えています。このままだと雑草に栄養をとられて米のしょうかくが減るかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草を取る回数と人数を増やしました。(92字) …19.1%

誤答例の分析と課題

このように解答した児童は、【川村さんの文章】のグラフから分かる「雑草の量が増え続ける」という学校の米作りの問題点を書いていない。他にも【カード④】から分かることを書いていない誤答が18.4%あり、グラフと【カード④】のいずれかの情報しか取り上げていないために誤答となってしまった児童は、あわせて37.5%になる。グラフを含めた複数の情報を用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題があると考えられる。

中学校 国語：書くこと

◆ 読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて文章を整えることについては、改善の状況が見られるが、引き続き課題がある。(⇒大問3一)

具体的な設問例 (大問3一)

山田さんが 線部「もち」を「もったため」に直すことにした意図として、最も適切なものを選ぶ。

正答率：54.7%

- 4 「判じ絵」を調べることにした理由を明確にしようとした。
- 3 「判じ絵」に興味をもったきっかけを明確にしようとした。
- 2 「判じ絵」が現代に伝わった理由を明確にしようとした。
- 1 「判じ絵」を知ったきっかけを明確にしようとした。

「判じ絵」について

山田 光一

- はじめに
学校図書館の本で、「判じ絵」というものがあることを知った。「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのかに興味をもち、詳しく調べることにした。
- 調査方法
学校図書館、地域の図書館、インターネットで情報を集めた。
- 調査結果
■「判じ絵」とは何か



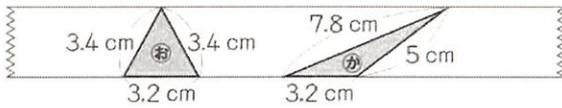
〔下書きの一部〕

小学校 算数：図形

◆高さが具体的に示されていない複数の三角形について、それらの面積の大小を判断するのに必要な情報を見だし、その理由を記述することに課題がある。

具体的な設問例
(大問2(4))

テープを直線で切ってつくった2つの三角形の面積の大小を判断し、その理由を説明する。



- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

正答率：21.1%

〈正答例〉【番号】 3
【わけ】 三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができます。㊸と㊹の底辺は、どちらも3.2cmなので等しいです。㊸と㊹の高さは、テープのはばがどこも同じ長さなので等しいです。だから、㊸と㊹の面積は等しいです。

〈誤答例〉【番号】 4
【わけ】 高さが書かれていないので、このままでは面積を求めることができないから。 …16.8%

誤答例の分析と課題

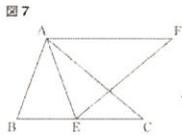
このように解答した児童は、2つの三角形の高さが同じであるということに気付くことができていないか、具体的な数値が示されていないので比べることができないと判断したと考えられる。

中学校 数学：図形

◆条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることに課題がある。

具体的な設問例
(大問9(2))

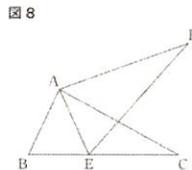
「合同な2つの二等辺三角形」という条件を、合同であることは変えずに、二等辺三角形ではない三角形に変えた場合に、もとの証明のどの部分が成り立たなくなるのかを考える。



△ABCと△AEFは合同な二等辺三角形。

BC // AFであることは、次のように証明できます

証明1
△ABC ≡ △AEFより、合同な図形の対応する辺と角はそれぞれ等しいから、
AB = AE …… ①
∠ABC = ∠AEF …… ②
△AEFにおいて、二等辺三角形の底角は等しいから、
∠EAF = ∠AEF …… ③
②、③より、
∠ABC = ∠EAF …… ④
また、①より、△ABEは二等辺三角形である
二等辺三角形の底角は等しいから、
∠ABE = ∠AEB …… ⑤
∠ABE = ∠ABCだから、④、⑤より、
∠EAF = ∠AEB
よって、錯角が等しいから、
BC // AF



△ABC ≡ △AEFであることは変えずに、二等辺三角形ではない三角形に変えた。

優奈さんは、図8でBC // AFとならないのは、前ページの証明1の①から⑤のどれかが成り立たないからだと考えました。
図8のような二等辺三角形ではない合同な2つの三角形の場合には、∠EAF = ∠AEBとならないため、BC // AFとなりません。このことは、証明1をもとに、次のように説明することができます。

二等辺三角形ではない合同な2つの三角形の場合には、証明1の□Ⅰが成り立たないから、□Ⅱが成り立たない。よって、∠EAF = ∠AEBとならないから、BC // AFとならない。

上の□Ⅰには証明1の①、②、③のどれか1つが、□Ⅱには証明1の④、⑤のどちらか1つが当てはまります。□Ⅰ、□Ⅱに当てはまるものをそれぞれ書きなさい。

正答率：37.6%

〈正答〉
Ⅰに③と解答し、
Ⅱに④と解答しているもの。

〈誤答例〉
Ⅰに③と解答し、
Ⅱに⑤と解答しているもの。
…15.5%

誤答例の分析と課題

条件が「二等辺三角形ではない合同な2つの三角形」に変わったことから、証明1に書かれている「二等辺三角形の底角は等しいから」を根拠としている③と⑤が成り立たなくなったと捉えたと考えられる。また、条件を変えても、△ABEがAB = AEの二等辺三角形であることは変わらないということに気付くことができなかったとも考えられる。

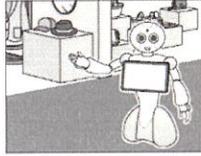
中学校 英語：書くこと

◆社会的な話題について、自分の考えやその理由などを書くことに課題がある。

具体的な設問例 (大問8(2))

ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えと理由を英語で書く。

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?



正答率：20.1%

無解答率：28.9%

〈正答例〉

- I agree with you. If robots do our housework, we will have more time.
- I don't agree with you because people will lose their job.

〈誤答例〉

- Yes, I do. I think robots is very nice.
- No, I don't. I don't like robots. …27.8%

誤答例の分析と課題

このように解答した生徒は、**自分の意見を書く際に、なぜそのように考えたのかという理由を、英文の書き手の意見を踏まえて書くことに課題**があると考えられる。どのようなことを書けば理由になるのか理解できていない、あるいは、理由を書くために必要な表現が身に付いていないことが考えられる。

また、自分の考えやその理由を書くことはできているが、文法事項等の誤りがある解答が7.6%である。このような解答をした生徒は、**基本的な語や文法事項等を理解して文章を書くことに課題**があると考えられる。

中学校 英語：話すこと

◆社会的な話題について聞き、自分の考えとその理由を話すことに課題がある。

具体的な設問例 (話すこと大問2)

環境問題についての英語のプレゼンテーションを聞き、話し手の意見に対する自分の考えとその理由を話す。



正答率：4.2%

無解答率：18.8%

〈正答例〉

- I like your idea. Many people in Japan use plastic bags. We must change our action to protect environment like people in New Zealand.

〈誤答例〉

- I'm surprised. • We are buy eco bags. …50.0%

誤答例の分析と課題

このように解答した生徒は、プレゼンテーションへの感想のみを話しており、**話し手の意見を踏まえた上で、自分の考えやその理由を聞き手に話して伝えることに課題**があると考えられる。

その背景には、自分の考えやその理由を整理できなかつたり、自分の考えとその理由を話すために必要な表現が身に付いていなかったりすることがあると思われる。

〈参考〉

- 「(英語「話すこと」調査で)聞いたことを理解したが、話す内容が思い浮かばなかった」と回答した生徒 …35.8%
- 「(英語「話すこと」調査で)聞いたことを理解し、話す内容は思い浮かんだが、その内容を表現する英語が思い浮かばなかった」と回答した生徒 …41.1%